

2018年9月期連結決算

2018年10月31日



株式会社三菱総合研究所

1. 2018年9月期決算

2. 2019年9月期業績予想

3. 中期経営計画2020の進捗

2018年9月期 連結決算のまとめ

売上高： 902.5億円 前期比 +7.8億円 (+0.9%)

- 民間向け伸長により売上増

経常利益： 53.6億円 前期比 △8.9億円 (△14.3%)

- シンクタンク・コンサル (TTC) が伸長、利益率改善
- ITサービス (ITS) は金融・カード堅調も、課題案件への引当金計上で大幅減益

純利益： 34.0億円 前期比 △4.3億円 (△11.2%)

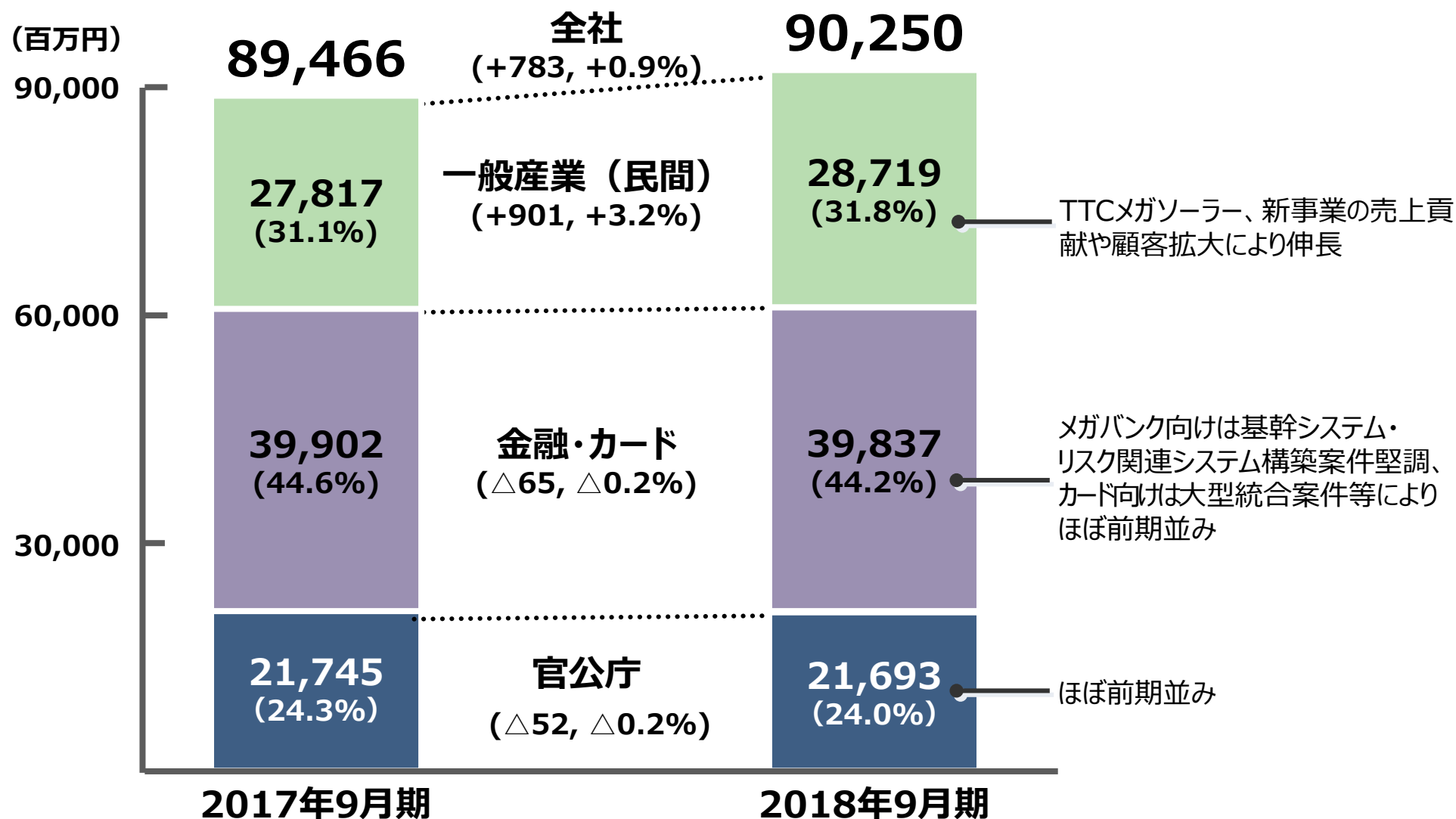
- 経常利益減少に伴う減益

期末配当を5円引き上げ (45円)

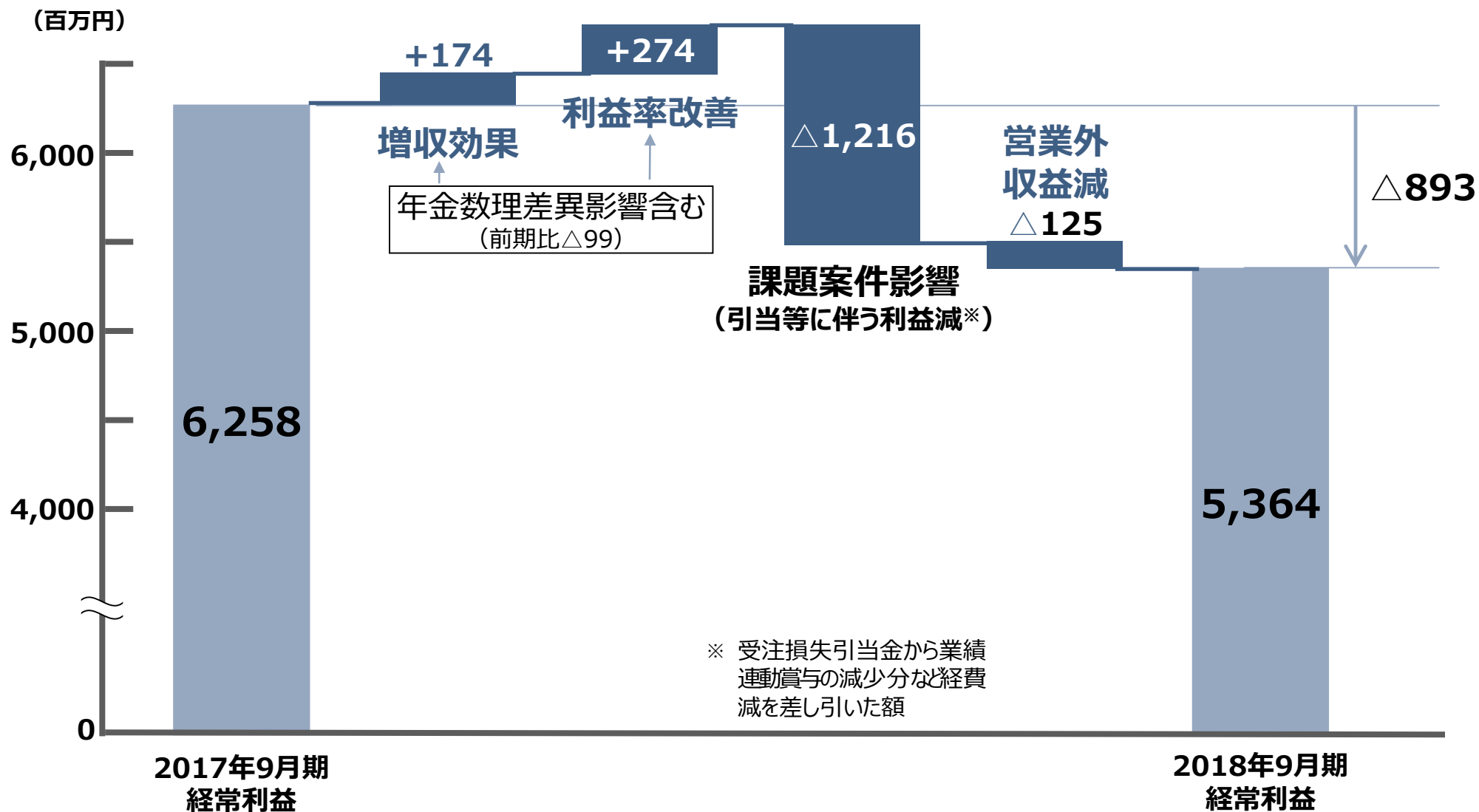
2018年9月期 連結決算 <前期比>

	17年9月期	18年9月期	(百万円)			
			前期比		公表予想 17/10/31	公表 予想比
			増減額	増減率		
売上高	89,466	90,250	+783	+0.9%	93,000	△2,749
売上総利益	19,970	19,274	△695	△3.5%	—	—
売上総利益率	22.3%	21.4%	△0.9P		—	—
販売費及び一般管理費	14,238	14,311	+72	+0.5%	—	—
営業利益	5,731	4,963	△768	△13.4%	5,900	△936
営業利益率	6.4%	5.5%	△0.9P		6.3%	△0.8P
経常利益	6,258	5,364	△893	△14.3%	6,400	△1,035
親会社株主に帰属する当期純利益	3,833	3,402	△431	△11.2%	3,900	△497
1株当たり当期純利益（円）	235.08	209.46	△25.62	△10.9%	240.06	△30.60
ROE（自己資本利益率）	9.1%	7.5%	△1.6P		—	—

顧客業種別売上高 <前期比>



経常利益の変動要因 <前期比>



シンクタンク・コンサルティングサービス (TTC)

(百万円)

	2017年9月期	2018年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	32,730	33,489	+759	+2.3%
営業利益	1,862	3,113	+1,251	+67.2%
営業利益率	5.7%	9.3%	+3.6P	
経常利益	2,029	3,233	+1,203	+59.3%
受注高	31,618	35,455	+3,836	+12.1%
受注残高	23,033	25,000	+1,966	+8.5%

主なポイント

- 中期経営計画2020の戦略が奏功
- 民間案件・新事業（ストック型）の増加により売上増・利益率大幅改善
- 受注高・受注残高も好調持続、4Qに伸長（受注残前同比 3Q末+1.2%→4Q末+8.5%）

ITサービス (ITS)

(百万円)

	2017年9月期	2018年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	56,736	56,760	+24	+0.0%
営業利益	3,791	1,769	△2,022	△53.3%
営業利益率	6.7%	3.1%	△3.6P	
経常利益	4,125	2,050	△2,074	△50.3%
受注高	56,260	56,972	+711	+1.3%
受注残高	36,266	36,477	+211	+0.6%

主なポイント

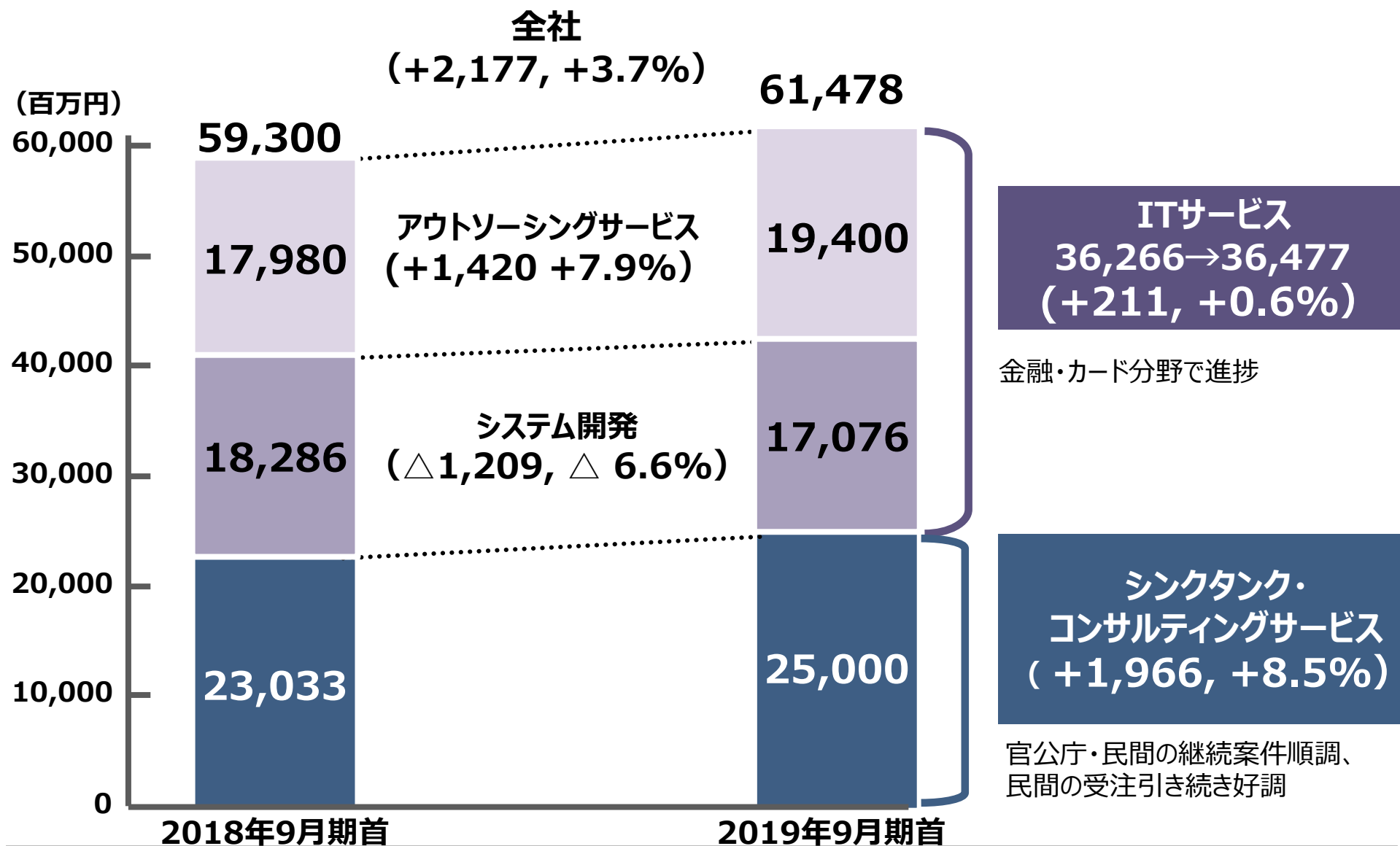
- 課題案件（大型システム開発）により受注損失引当金を計上（16.8億円）
 - ・ 3Qに発生した障害が収束せず、品質改善のための追加改修に対応
- 金融・カード、一般産業分野の売上はほぼ計画通り（課題案件影響除く）
- 受注高・受注残高ともに4Qに挽回、前期比プラス（受注残前同比 3Q末△15.9%→4Q末+0.6%）

1. 2018年9月期決算

2. 2019年9月期業績予想

3. 中期経営計画2020の進捗

期首受注残高 <前期比>



2019年9月期 連結業績予想

□ 課題案件を収束し、中計成長軌道へ回帰

売上高予想： 940億円 前期比 +37億円 (+4.2%)

- TTC：前期比 +15億円 (+4.5%) 官民共創・民間中心に業績伸長
- ITS：前期比 +22億円 (+3.9%) 成長軌道への回帰、新事業拡大

経常利益予想： 64億円 前期比 +10.3億円 (+19.3%)

- TTC：前期比 △1.3億円 (△4.1%) 持続的成長に向けた先行投資実施
- ITS：前期比 +12億円 (+60.9%) 課題案件収束による利益率改善

当期純利益予想： 39億円 前期比 +4.9億円 (+14.6%)

2019年9月期 連結業績予想

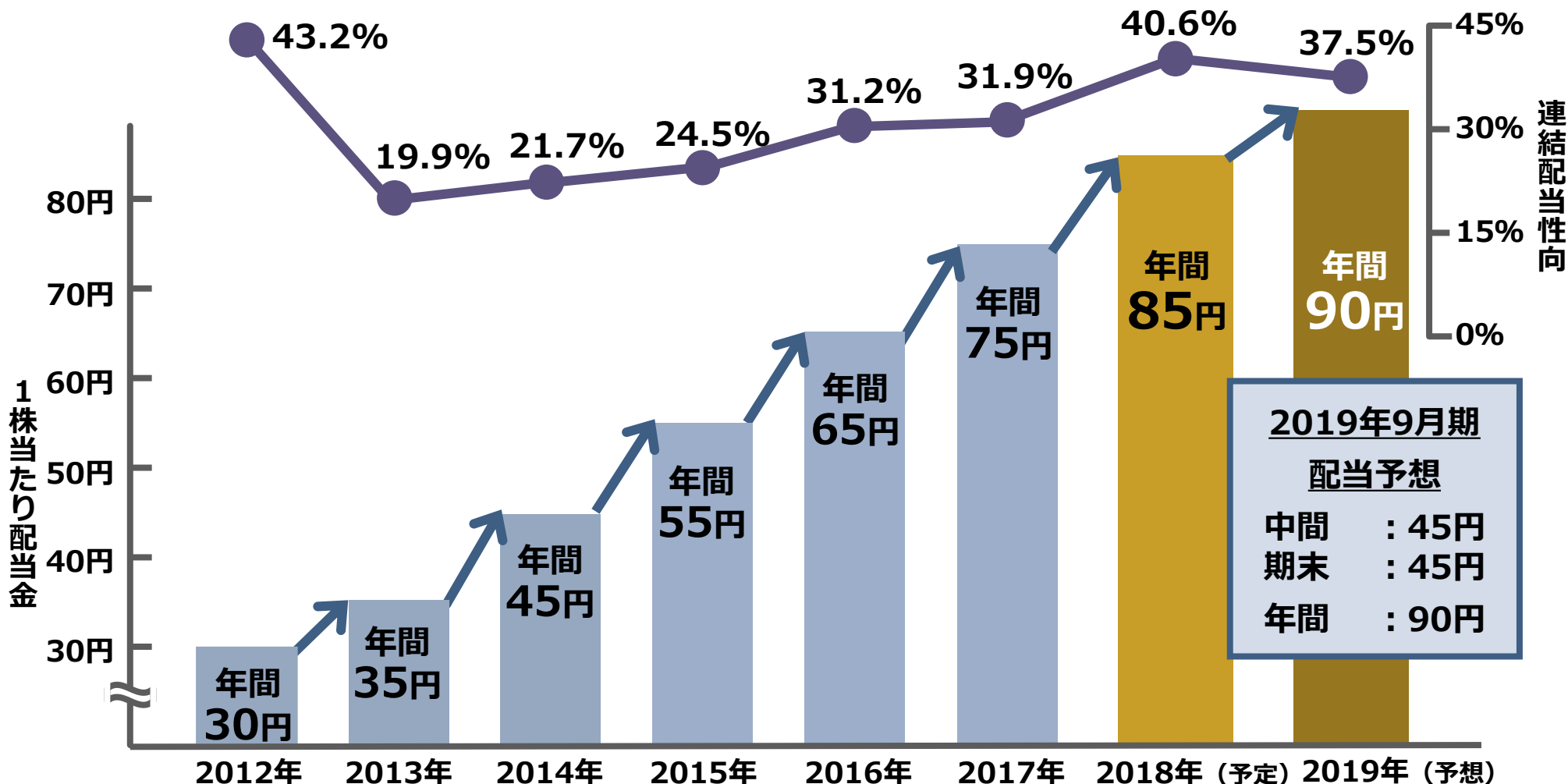
(百万円)

	2018年 9月期実績	2019年 9月期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	90,250	94,000	+3,750	+4.2%
シンクタンク・コンサルティングサービス	33,489	35,000	+1,511	+4.5%
ITサービス	56,760	59,000	+2,239	+3.9%
営業利益	4,963	6,000	+1,037	+20.9%
営業利益率	5.5%	6.4%	+0.9P	
経常利益	5,364	6,400	+1,036	+19.3%
シンクタンク・コンサルティングサービス	3,233	3,100	△133	△4.1%
ITサービス	2,050	3,300	+1,249	+60.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,402	3,900	+497	+14.6%
1株当たり当期純利益（円）	209.46	240.06	+30.60	+14.6%

2019年9月期 配当予想

配当方針

安定的な配当を継続的に行いながら、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げを目指す



1. 2018年9月期決算

2. 2019年9月期業績予想

3. 中期経営計画2020の進捗

三大改革の進捗状況

(1) 事業ポートフォリオ改革

- 官民共創ソリューションに手応え、成果も早期顕在化
- △ 成長事業における人財拡充が新たな課題

(2) ビジネスモデル改革

- サービスインした新事業（ストック型）の収益化が進展
- INESとの業務・資本契約締結
- △ グループICT連携強化が新たな課題

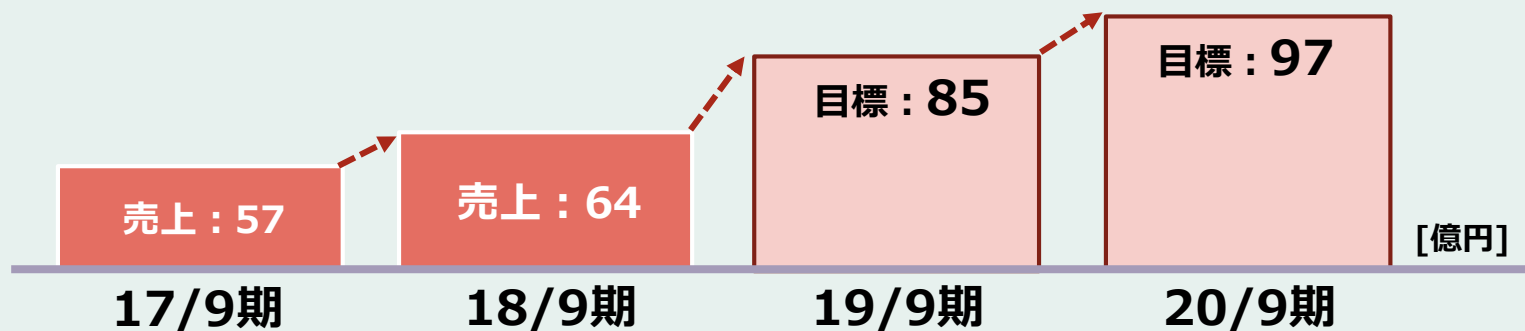
(3) 働き方改革

- 新しい人事制度設計（複線型キャリア、シニア活躍、副業等）
- △ ガバナンス強化が新たな課題

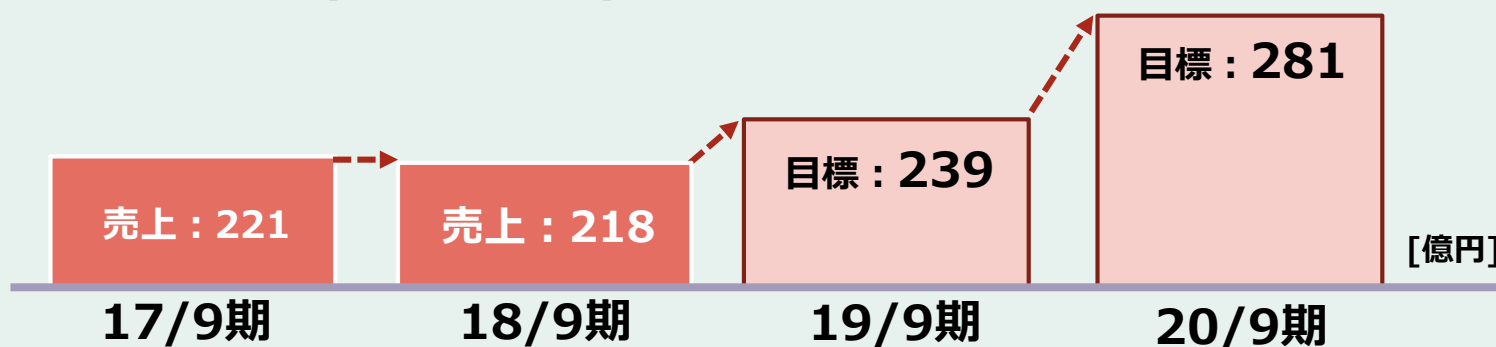
計数面の進捗状況

売上実績・目標

■ 官民共創ソリューション事業



■ 民間向け事業（含む新事業）



●官民共創ソリューション事業

□ 政策起点の「重点分野」×「業界」アプローチで受注増加



■ 受注実績例

ヘルスケア・
ウェルネス

×

電機・機械

総合電機
メーカーA社

介護分野におけるIoT活用
ビジネス

- 既存技術とIoTを組み合わせた介護事業参入支援



エネルギー

×

鉄道・運輸

鉄道事業者
B社

エネルギービジネス検討

- 自社の設備やノウハウを活かした新事業展開を検討



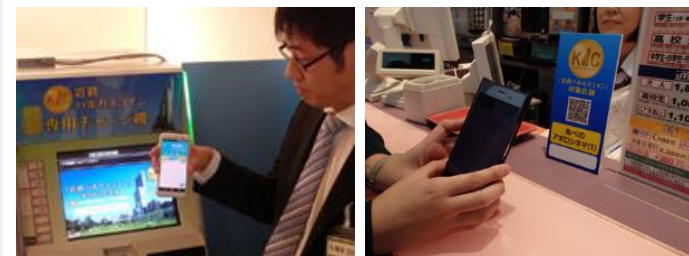
●新事業（ストック型）

□ 新事業（ストック型）の収益化進展

社会課題×技術	進捗	商品群	パートナー連携
HR-Tech	提供中・開発中	採用支援・働き方改革支援	マイナビ
Health-Tech	提供中	高齢者向け運動促進・支援	Moff
Region-Tech	提供中	インテリジェント自治体（AIスタッフ）	INES
Energy-Tech	提供中	卸電力取引向けオンラインサービス	KYOS（欧）

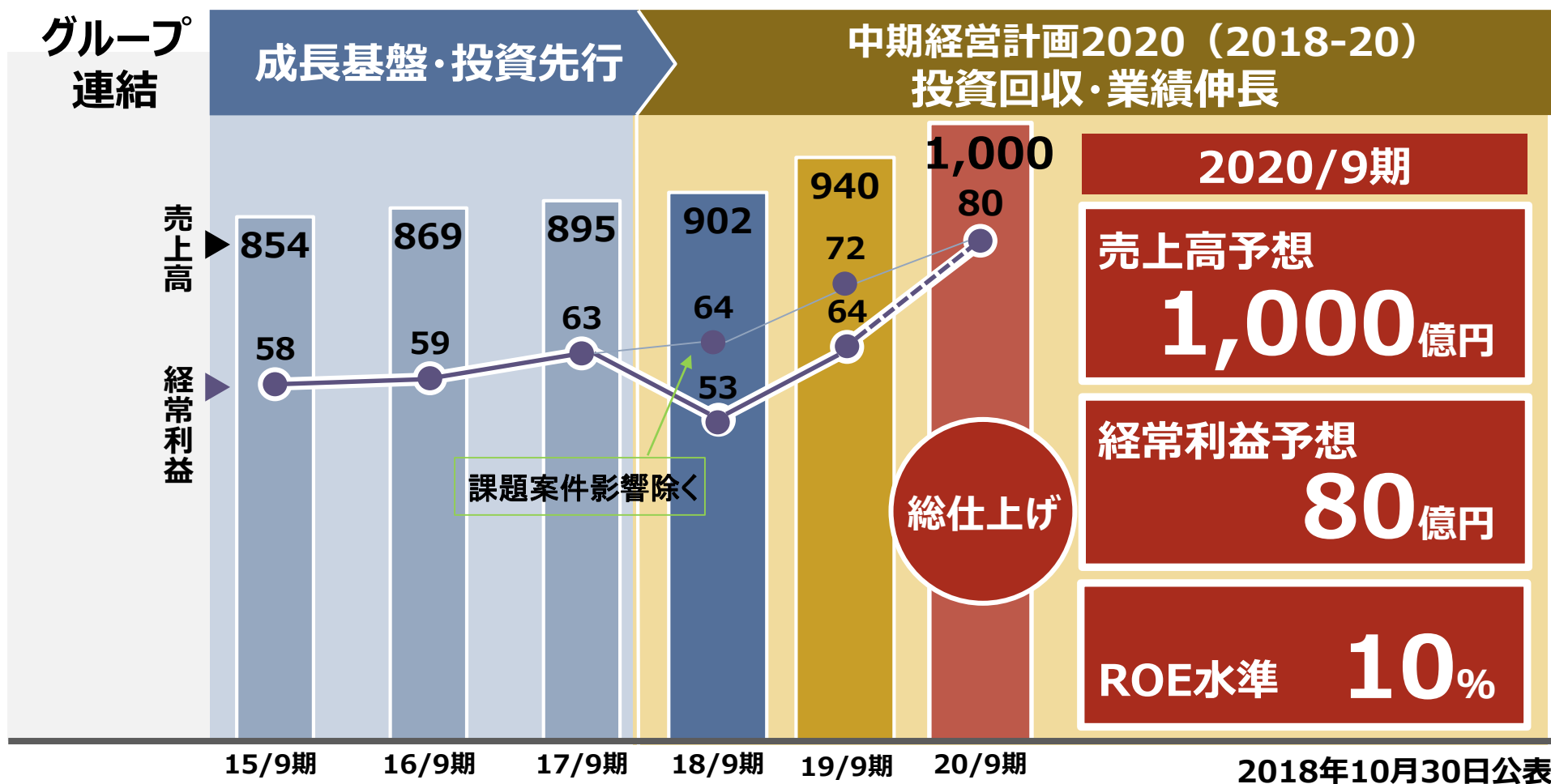
□ 続く新事業も実証中（例：デジタル地域通貨事業）

- 10月に近鉄グループとの第2回実証実験を開始
- 大阪市、地元商店会と連携して対象店舗拡大
- 2019年度の本格運用を目指す



2020年財務目標

2019年度に成長軌道回帰、2020年度目標堅持



将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

TEL	: 03-6705-6001
FAX	: 03-5157-2171
E-mail	: ir-info@ml.mri.co.jp
URL	: http://www.mri.co.jp/